

地上とシェアする

一期一会

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

2月23日は「富士山の日」に制定されているそうです。語呂合わせの妙もさることながら、空気が澄むこの季節は、機内から望む富士山も一層優美に見えるように感じます。

富士山に限らず、空の上からの景色を楽しみにされているお客さまは多く、客室乗務員をしていた時にはよく窓の外をご案内していました。私が新人だった頃は、フライト中に先輩から突然、窓の下に広がる山や湖、島を問われるという、抜き打ちテストがあり、大層鍛えられましたので、いつしか「そろそろあれが見えてくる頃かな」と脳内地図帳と体内時計が連動するようになりました（先日の出張時、久しぶりに腕試しをしてみました、まだまだ健在だと自負しています）。

同じ路線を飛んでいても毎回違う表情を見せてくれる、まさに一期一会の景色。そして何より、窓の外をのぞき込んだお客さまの、顔がぱっと輝くその瞬間が、空の旅への愛しさや仕事の醍醐味を教えてください、こちらまで笑顔になってしまうものでした。

そんなかけがえない瞬間が、今は機内を飛び出し地上にも広がっています。昨年からJALグループでは、機内Wi-Fiサービスを拡充し、よりご利用いただきやすくなりました。目的地の



情報収集やお仕事への対応だけでなく、空の上で出会えた「一期一会の景色」を、他の誰かとリアルタイムで「シェア」しながら過ごされる方も多くいらっしゃいます。地上でそれを受け取る方も、一緒に旅をしている気分……とまではいかずとも、「はるか上空で、今、この景色を見ているのか」と笑顔になる——高度1万mと地上との双方を想うつながりが、空の旅から新しい笑顔の連鎖を生み出してくれるように思います。

目的地に到着するまでの間も、心に残るすてきな思い出となりますように。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。

イラスト／山本祐布子

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社（客室乗務員）。2019年に客室安全推進部長、2020年に執行役員 客室本部長、2022年に常務執行役員 客室本部長、2023年に専務執行役員 カスタマーエクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCCOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。



たびとりどり

代表取締役社長グループCEO

鳥取三津子